

2008 年度

科目名  <p style="text-align: center;">中国語 I (コミュニケーション)</p>	対象学科・学年 教育教福1回生 人間人社1回生	担当者  <p style="text-align: center;">嘉瀬 達男</p>
授業テーマ 中国語の基本会話能力の修得		
授業の概要と目標 中国語の基本文型と基礎会話を学習し、簡単な内容を自分の口で言えるようになることを目指す。まず発音練習を繰り返し行ない、発音記号を覚えてもらう。その後、基本文型を学習しながら、多くの言い換え練習を行なう。とにかく口で表現することを重視するので、口と声の大きさも評価の対象とする。複雑な文法は扱わないが、語彙を重視するので単語帳を作るとよい。また、時には教科書以外の教材を用いて、中国語の背景にある生活や文化にも触れる。		
評価方法 各期末の筆記試験 (60%) と、発音・会話の小テスト (40%) の結果に、出席平常点を加味して評価する。		
テキスト 『中国語精選サラダ』	著者 劉郷英・嘉瀬達男・ 豊後宏記	出版社 朝日出版社
参考書 授業で紹介する	著者	出版社
授業スケジュール・内容 《前期》 1 中国語とは 2 発音：母音の練習 3・4 発音：子音の練習 5 「～する (動作の表現)」第1課 6・7 「～もっています (所有表現)」第2課 8 「……は～です (“是” の用法)」第3課 9 発音小テスト 10・11 「いくつ食べますか? (個数の言い方)」第4課 12 「……は～だ (形容詞の使い方)」第5課 13・14 「～な…… (“的” の用法)」第6課 15 筆記試験 《後期》 16 復習 17・18 「……は～にあります (存在の表現①)」第7課 19 「～に……があります (存在の表現②)」第8課 20・21 「明日～します (時の表現)」第9課 22 発音小テスト 23 「～したことがあります (経験の表現)」第10課 24・25 「～しました (完了の表現)」第11課 26・27 「～したい」「～できる」(助動詞の使い方) 第12課 28・29 「～で……する」「～に……する」(介詞の使い方) 第13課 30 筆記試験		